

事業報告 概要書

1、法人本部について

①定例の理事会、評議員会、監事監査をそれぞれ実施した。

②就労継続支援事業B型

平成28年度と比べ、ご利用者様のご逝去や入院、精神面の不安定やそれによる引きこもり状態等により利用実績が減少した。平成30年度は余暇支援・社会参加支援を目的とした土曜開所の増日の希望もあることから、年間12回の実施を年間20日の実施へ増日し、サービスの向上と経営的な改善に取り組む。

③日中一時支援事業

早朝の利用が2名、日中の利用が2名あり、延べ利用実績は253日であった。また、平成30年5月より新規に1名の方が利用を開始している。

④相談支援事業

計画作成が年間31件、モニタリングが年間40件の実施であった。また、栃木市主催の「栃木市相談支援ネットワーク定例会」に参加するとともに、事務局の一員として参画した。

⑤グループホームの設置に向けた取り組み

平成29年6月に保護者を対象とした学習会を実施した。また、平成29年12月14日にはグループホームの見学会を実施した。本日議案上程予定であるが、グループホームの設置に先んじて用地取得に向けての様々な対応を実施している。

2、就労継続支援事業B型わらしべの家について

①生産活動

例年と変わらず各事業において、ひとりひとりに合った作業を提供し、楽しみながら作業技術の向上や、生活能力の向上等を目標に取り組んだ。

②工賃

自主製品事業（さをり織り）、IT事業（パソコンを使用した作業）では売り上げを増やすことが出来たものの、請負事業においては、利用者のご逝去や入院等により作業量が減少した為、減収となってしまい、全体としても平成28年度の平均工賃が9,595円であったものが、平成29年度では8,532円と減少してしまっただ。今年度は声掛けや自宅への連絡・家族との連携等により細やかな支援を行うことで、ちょっとした欠席を減らし売り上げの増額を目指して行く。

③防災対策

毎月1回程度の訓練を実施した。

平成29年度 法人本部 事業報告

1 理事会・評議員会の運営

(1) 定例の理事会・評議員会を次のように開催した。

理事会

実施月	主な議案
5月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の事業報告及び決算報告 ・社会福祉充実計画について ・役員報酬規程の一部改正について ・評議員会の招集について ・理事会の招集について
6月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長及び業務執行理事の選任について
3月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・経理規程の一部改正について ・平成29年度 補正予算について ・平成30年度事業計画について ・給与規程の一部改正について ・準職員取扱要領の一部改正について ・平成30年度当初予算について

評議員会

実施月	主な議案
6月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の事業報告及び決算報告 ・社会福祉充実計画について ・役員報酬規程の一部改正について ・役員の選任について

2、監事監査の実施について

実施日	監査実施者	立会人	監査結果
5月9日	亀田幸夫監事 片柳洋一監事	金坂直仁理事長 金坂尚慶施設長 橋本充友相談支援 専門員	おおむね良好かつ適正に 運営されていると認め られた。
11月7日	亀田幸夫監事 片柳洋一監事	金坂直仁理事長 金坂尚慶施設長 橋本充友相談支援 専門員	おおむね良好かつ適正に 運営されていると認め られた。

2 人材育成と職員処遇の充実

労働時間の短縮等労働条件の改善及び業務省力化について

→時間外労働について、36協定の上限30時間を再度確認するとともに、時間外労働時間の見える化や送迎体制の変更、事務処理の担当変更等により削減を図っている。

3 就労継続支援事業（B型）「わらしべの家」の経営

（1）利用実績について

→利用者のご逝去や入院治療等により下記表のとおり、延べ利用実績が減少しており、増員や営業日の増日等の対応が急務である。他方、余暇支援を目的とした土曜開所についてご好評を頂いており増日の希望もあったことから、平成30年度については年12回の実施だったものを年20回の実施へ増日し、余暇支援の充実と経営的な改善に取り組む。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
平成28年度	契約者数	35	34	34	34	34	34
	利用実績	29.1	29.3	29.9	29.9	28.6	28.4
	延べ利用実績	612	586	658	658	601	597
	利用率	83.3%	86.2%	88.0%	88.0%	84.2%	83.6%
平成29年度	契約者数	34	34	34	34	34	34
	利用実績	28.0	29.5	29.8	28.0	27.7	28.3
	延べ利用実績	615	619	656	617	553	594
	利用率	82.2%	86.7%	90.4%	85.0%	83.8%	85.7%

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年度	契約者数	34	34	34	34	34	34	34
	利用実績	29.1	28.3	29.1	29.1	29.1	28.4	29.0
	延べ利用実績	611	594	581	582	581	653	7,314
	利用率	85.6%	83.2%	85.4%	85.6%	85.4%	83.5%	85.2%
平成29年度	契約者数	34	34	34	34	34	34	34
	利用実績	27.5	27.8	27.9	27.0	26.4	26.3	27.9
	延べ利用実績	605	583	586	540	527	578	7,073
	利用率	83.3%	84.1%	84.6%	81.8%	79.8%	79.6%	83.9%

4 日中一時支援事業（公益事業）の実施

- 平成29年6月19日から8月末日まで、1名の利用があった。就労Bへの移行を見据えつつサービスを提供し、9月1日より就労Bへ移行している。
- 11月中旬新規1名（週3日）利用開始している。
- すでに就労Bを利用されている方のご家族からの要望に応え、早朝の時間帯のサービスの提供を始めた（8:00~9:00）（10月中旬~1名、30年1月~1名、計2名）

5 指定特定相談支援事業「相談支援事業所 わらしべの家」の経営

- 社会福祉法改正による「公益的な取組の責務」もあり、栃木県社会福祉協議会による「いちごハートネット事業」（社会福祉法人によるよろず相談のようなもの）に参加し、随時開催される会議や研修等に参加している。

6 共同生活援助事業（グループホーム）の設置検討

- 6月24日に「グループホームについての学習会／保護者交流会」を実施し、制度についての説明を行うとともに、栃木市内のグループホームの状況について共通理解を図った。保護者からは「費用はいくらかかるのか？職員は夜間もいてくれるのか？」等非常に具体的な質問があり、関心の高さが表れていた。しかし、いまひとつイメージがつかめないという方も多く、市内のGHの見学を実施することとなる。
- 平成29年12月14日に栃木市内のグループホームの見学（ハートフルふきあげ（賃貸アパート方式）／ゆーあい工房（自前で設置））をした。保護者の参加は、2名のみであったが、その2名からは「非常に勉強になった。」「グループホームの利用は本人がもっと高齢になってからの話と思っていたが、練習の意味で早めに利用してもいいのでは？と考え方が変わった。」等の感想があった。
- 今後はグループホームの設置に向けて、下記の土地取得に向けた動きと併せ詳細を計画していく。

7 法人北側の更地の取得に向けた取り組み（GH／駐車場／現行建物建て替え用地）

- 土地所有者やその仲介業者と何度か相談を行ったところ「賃貸はしない。売りたいが、売るのであれば316坪をまとめて売りたい」との話があった。金額が非常に高額な為、福祉医療機構からの融資を前提に売買契約の締結に向けて対応している。

平成29年度 わらしべの家 事業報告

1 適切な利用者処遇の確保について

(1) 適切な利用者処遇方針の策定

利用者の処遇に当たっては、職員会議を通じて、利用者個々の心身の状況等を勘案し、利用者並びに家族の意思を尊重した個別処遇方針を策定した。また、個別支援会議において、処遇方針見直しの検討を行った。さらに週に1回、個々の個別支援記録ファイルを理事長並びに施設長に提出し、個々の状況確認を行うとともに、必要に応じて助言を行った。

(2) 健康管理対策

全般的な健康診断及び生活習慣病等の予防策として、10月にとちぎメディカルセンター総合健診センター（旧医師会病院）の協力の下、健康診断を実施した。また、6月並びに3月に嘱託医の大森正規医師による問診を施設内で実施した。また、7月に大腸がん検診を希望者のみ実施した。全利用者に結果を報告するとともに、問題のある利用者に対しては、通院や再検査を促した。さらに12月には、とちぎメディカルセンター総合健診センターの協力の下、インフルエンザ予防接種を希望者のみ受診した。

2 生産活動について

(1) 請負事業

昨年から継続している ボールペン加工・プラスチック製品の組立・ネジの袋詰め・萁のヘタ取り等の作業を引き続き実施した。新規作業として組立治具を使用したペンの組立やハーネスの加工作業等を加え請負作業の充実を図った。

不定期作業として自動販売機作業・書類の封入作業、公園清掃作業、畑作業、思いやり駐車スペース看板作業等の生活に身近な作業も実施し、より達成感・満足感を得ることが出来るよう支援を行った。

また、日常生活においても日々の支援の中で社会生活に必要な「挨拶」・「礼儀」・「身だしなみ」・「金銭感覚」等が身に付くよう努めた。

(2) 自主製品事業

さをり織りでは、今年度も主に生産量の増加に努めた。出張販売では萁作業の繁忙期（4月・5月・3月）を除く、月に1回県立がんセンターにて販売した。栃木市役所1階の福祉ショップの売り上げは減少傾向であるが、東武百貨店に販売場所提供のご協力いただき、わくわく広場（物産展）を7月（カラオケ大好き交遊会）・9月・12月・3月に参加し、こちらの売り上げは増加した。その他、シルバー大学校中央校（6月）・福祉プラザ「パンの日」（9月）・栃木特別支援学校

の文化祭（しらすぎ祭）（11月）などの県内のイベントにも参加した。そこでは、たくさんの方々と関わり、温かい言葉をかけて頂いた。さをり織りの商品を購入し、気に入ってくださり今後の出張販売の予定などの問い合わせを頂く等、リピーターのお客様も増えている。また、委託販売として不定期ではあるが、福祉プラザ（宇都宮市）・福祉ショップ（栃木市）に納品している。その他、一般の方や企業様からの発注や来所された保護者様にご購入頂き、多数の商品を納めることができた。

さらに、引き続きJAしもつけ（栃木市）からの苺のヘタ取り作業や栃木市委託の公園清掃・自動販売機作業を行い、請負事業と協力し合いながら参加した。その他にも封入作業・梱包作業など軽作業の依頼があった際には参加することができた。これらの作業を行うことで地域社会への貢献を知り、作業意欲を高めながら工賃増に努めた。

また、不定期ではあるが、農作業（野菜の種植えや除草作業）にも参加し、作物ができる喜びや体を動かすことの楽しみを知ることができた。

（3）IT事業

（ア）機関紙作成

継続して写真の枚数・挿絵を多く配置し、文章の書き方も親しみやすく感じてもらえるように努めた。

（イ）ホームページ作成

掲載前に内容を複数人で確認することで、読み手側に誤解やトラブルがないよう努めた。また、常にわらしべの里の最新情報を掲載するよう対応した。たくさんの人たちにわらしべの活動を知ってもらえる利点があることを実感している。

また、昨年1月から利用者さんのかかりつけ医院（リハビリ）と、正式にホームページ更新作業の契約を結び、実施している。試行錯誤しつつも更新することが出来ている。

（ウ）名刺作成

リピーターのお客様も増え、仲間たちも喜んでいる。商品に満足していただいているのか、同じ組織内からの注文が数件続いている。注文を受ける、という部分は難しいが、商品が完成し、お客様への納品という部分では、その場に一緒に立会い、「自らの手からお客様の手へ」の手渡しの機会を増やした。

（エ）絵はがき作成

わらしべの里利用者が描いた絵やパソコンで作った絵を年賀・暑中見舞いはがきにして、販売している。はがきの受注・作成・納期といった一連の流れを経験した。作成期間がカレンダー作業と重なり負担増となるが自分の役割があるという点でやる気につながっている様子。

（オ）カレンダー作成

卓上カレンダーの作成・販売を実施した。今年の干支にあわせ、テーマを「戌」

にちなんだものとした。

(カ) 封筒印刷

栃木市役所をはじめ、市内の施設から注文が何件か入り、年間を通して取り組める作業となった。

(4) リサイクル事業

BDF 作業では、法人公用車3台、栃木市環境課2台、生協集配トラック1台の計6台に給油しトラブル無く運行している。また、精製過程の工程を見直し、電動ポンプの活用による生産性の向上と品質の向上に努めた。

アルミ缶作業では、分別作業に、目視と磁石を活用することで作業効率や、作業技術の向上に努めつつ、安全第一に取り組んだ。

(5) 工賃支給実績

年度	対象者 総数(名)	総支給額(円)	1月あたり1名あたりの 平均支給額(円)
27	401	3,133,164	7,813
28	389	3,732,785	9,595
29	382	3,259,219	8,532

※栃木県に提出している「工賃実績報告書」に基づく

3 防災対策について

施設の運営状況に合わせながら、下記のとおり月1回程度の防災訓練を実施した。
また、総合訓練の際には水消火器を用いた消火訓練を実施した。

防災訓練実施状況

実施月	訓練内容
4月	消火訓練・避難誘導訓練
5月	避難誘導訓練
6月	消火訓練・避難誘導訓練
7月	避難誘導訓練(竜巻を想定)
8月	消火訓練・避難誘導訓練
9月	総合訓練
10月	消火訓練・避難誘導訓練
11月	避難誘導訓練
12月	消火訓練・避難誘導訓練
1月	荒天により中止
2月	荒天により中止
3月	総合訓練

平成29年度 相談支援事業所わらしべの家 事業報告

1 特定相談支援事業について

(1) 基本相談支援

障がいのある方及びその保護者または介護者などから社会生活を営む上での相談に応じ、情報提供や助言を行うとともに、市町及び障がい福祉サービス事業者との連絡調整を行った。

(2) 計画相談支援

・サービス利用支援

障がいのある方のご希望や目標などを伺いながら、一人ひとりのニーズや状況に合わせたサービス等利用計画案を作成した。障がい福祉サービスの利用支給決定後に、障がい福祉サービス事業者等の関係機関と会議、連絡調整を行い、サービス等利用計画を作成した。

・継続サービス利用支援

障がい福祉サービスの利用支給決定後、厚生労働省令で定める期間ごとに障がい福祉サービス等の利用状況の確認（モニタリング）を行い、必要に応じて、サービス等利用計画の見直しを行った。

(3) 計画相談支援内容【請求件数】

月	4	5	6	7	8	9
計画作成	7	3	0	2	2	3
モニタリング	2	2	3	2	3	3

10	11	12	1	2	3	合計
2	2	2	1	3	4	31
10	5	2	4	3	1	40

2 相談支援専門員の資質向上に向けて

関係機関各所で開催される研修会へ参加をした。また、栃木市障がい福祉課主催の学習会「栃木市相談支援ネットワーク定例会」に参加をするとともに、定例会事務局の一員として参画もした。

平成29年度 日中一時支援事業 事業報告

- 平成29年6月19日から8月末日まで、1名の利用があった。就労Bへの移行を見据えつつサービスを提供し、9月1日より就労Bへ移行している。
- 11月中旬新規1名（週3日）利用開始している。
すでに就労Bを利用されている方のご家族からの要望に応え、早朝の時間帯のサービスの提供を始めた（8:00～9:00）（10月中旬～1名、30年1月～1名、計2名）

サービス提供月	利用者数	利用日数（早朝）	利用日数（日中）	延べ利用日数
平成29年4月	0	0	0	0
5月	0	0	0	0
6月	1	0	10	10
7月	1	0	17	17
8月	1	0	15	15
9月	0	0	0	0
10月	1	11	0	11
11月	2	21	3	24
12月	2	19	13	32
平成30年1月	3	16	12	28
2月	3	39	16	55
3月	3	43	18	61
合計	—	149	104	253